

子どもたちの感性を育む新たな大型体験型施設 「JUNOPARK（ジュノパーク）」が8月5日グランドオープン

積水ハウス株式会社（以下、積水ハウス）は2025年8月5日（火）、京都府木津川市に地上4階建て、延べ床面積約7,500㎡の大型体験型施設『JUNOPARK（ジュノパーク）』を開業いたしました。



開業セレモニーの様子

JUNOPARKは、体験型研究施設「納得工房」を全面リニューアルし、子どもたちが豊かな感性を育み、未来へ向けた可能性を広げられる環境を提供する、積水ハウスの「キッズ・ファースト」の取り組みを体現する施設です。“夢中が芽生え、つながり、続いていく”というコンセプトのもと、約3年半の時間をかけてさまざまな体験コンテンツを開発しました。

開業セレモニーでは、西脇 隆俊 京都府知事ほかご来賓の皆様よりご祝辞を賜るとともに、当社代表取締役兼 CEO 社長執行役員 仲井嘉浩より「次世代にとって、子どもたちは宝である。感性豊かな子どもたちの育成に微力ながら貢献したい。ここでの体験を通じて感性豊かに育ち、一人でも多く、イノベティブな人材になっていくことを応援したい。」とコメントしました。

JUNOPARKの館長を務める枚田栄次からは、施設の概要について説明が行われ、“「住」から、心が育まれる。”というステートメントのもと、自分らしい幸せを感じる心をJUNOPARKでの体験を通じて育ててほしいと語りました。

セレモニーの終盤では、JUNOPARKのシンボルツリーである「感性の樹」から6つの感性になぞらえた6色の葉の形の紙吹雪が舞い、当施設の設計コンセプト「感性が芽生える森」に感性が芽吹く様子を表現し、開業をお祝いしました。

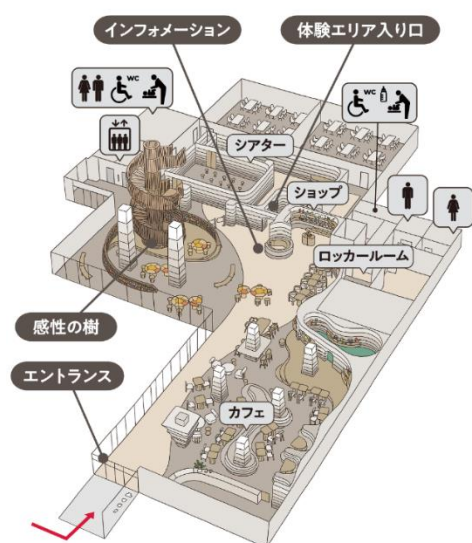
積水ハウスは、子どもたちが豊かな感性を育み、未来へ向けた可能性を広げられる環境を提供することが、より幸せな社会の実現につながると考えています。今後もJUNOPARKを通じて子どもたちに「感性を育む体験」を提供してまいります。

●施設概要

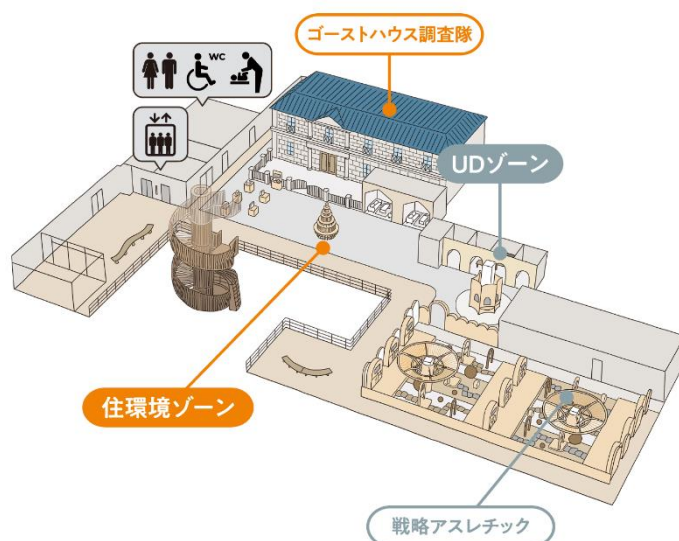
『JUNOPARK (ジュノパーク)』は、「エデュケーション (学び)」と「エンターテインメント (楽しさ)」を融合させた「**住育エデュテイメント施設**」です。積水ハウスの考える「暮らしの中で育まれる感性」をもとに、「デザイン」「住環境」「ユニバーサルデザイン」「構造」「資源循環」「自然環境」の6つに紐づく、さまざまな感性を育む体験を提供します。

施設は1階から4階までの4フロアから構成されており、ライブラリーなどを備える1階を中心としたパブリックエリア (無料) と、2階～4階を中心とした体験エリア (有料) の2つのエリアがあります。施設は「感性が芽生える森」をコンセプトに設計され、施設中央にある1階から3階までの吹き抜け空間には、施設のシンボルツリー「感性の樹」がそびえ立ちます。感性の樹を起点に、施設全体で“人それぞれの新しい感性が次々と芽生え、豊かに生い茂った森”が表現されています。

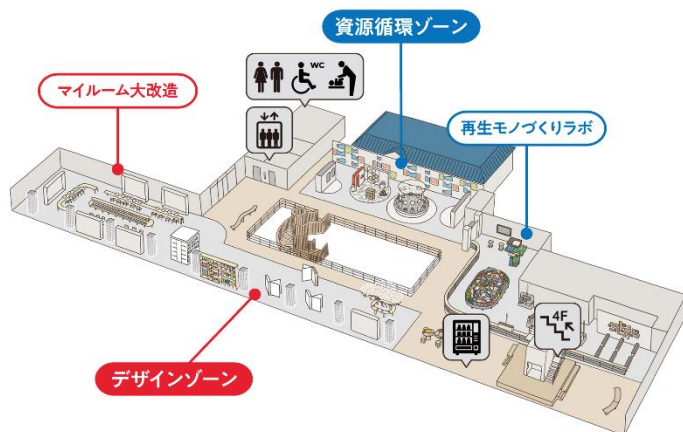
【1階】



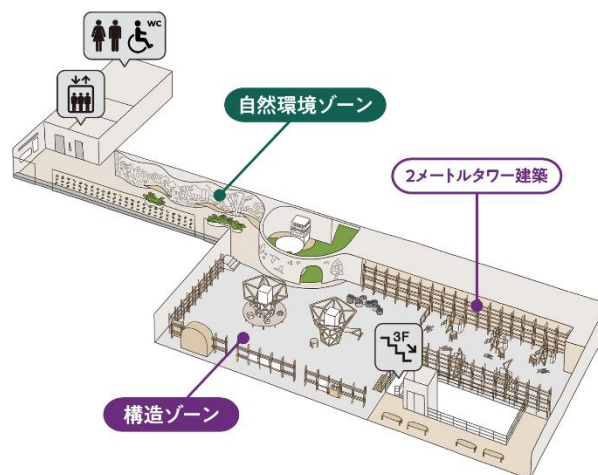
【2階】



【3階】



【4階】



●感性を育む体験アクティビティ・体験ギャラリー

積水ハウスが考える「暮らしの中で育まれる感性」をもとにしたコンテンツを開発。「住」の重要テーマに紐づく6つの感性を育む体験で、自分の「好き」や「大切」に気づくきっかけを提供します。体験は、館内でアクティビティパスを取って参加する約45分間のゲーム形式のグループワークショップ「体験アクティビティ」と、個人で自由に見ることのできる体験型展示「体験ギャラリー」を楽しむことができます。

【体験アクティビティ】



テーマ：デザイン（自己を表現する感性）

『マイルーム大改造』

50 カラー/200 テクスチャ以上の素材を組み合わせる思い思いの部屋をデザインするアクティビティ。選択肢が無数に増えることで自分の「本当の好き」がなにかを考え追求でき、他の人のデザインを見ることで「人の好きは唯一無二であること」に気づきます。



テーマ：構造（観察・追求する感性）

『2メートルタワー建築』

チームで協力しながら、2mの高さでも倒れない構造物をつくるアクティビティ。地震に強い建物作りでの構造などをヒントにしなが、構造の工夫について知り、観察してよりよくするために追求する力を養います。



テーマ：ユニバーサルデザイン（多角的な視点で捉える感性）

『戦略アスレチック』

装具で動きが制限された状態で、チームで協力しあいながらアスレチックをクリアするアクティビティ。さまざま身体の個性を表現した装具を装着することで、ユニバーサルデザインの体験を通して多角的な視点で捉え、考える力を学びます。



テーマ：住環境（論理的に考える感性）

『ゴーストハウス調査隊』

不快が詰まった家をチームで調査し、五感を使って不快の理由を考え快適な家に生まれ変わらせます。なぜ？を論理的に追求するクセを身につけます。



テーマ：資源循環（モノの価値を見出す感性）

『再生モノづくりラボ』

様々な種類が混ざったごみ山から、ごみを分別することで資源に変え、その資源を活用して新しいアイテムに生まれ変わらせるアクティビティ。普段の生活でもゴミのその先を意識し、身近なモノの価値を見出すことに繋がります。

【体験ギャラリー】



テーマ：自然環境（自然に共感する感性）

世界の自然共生ハウス展

自然と人が共に生きるために工夫された世界中から集めた家や暮らしを展示。体験しながら学べる要素が多数用意されており、豊かな自然を愛で、共に暮らすことの大切さを学びます。

※その他、各テーマエリアに体験ギャラリーを設置しています。

<入場チケット予約について>

2階～4階の体験エリアへは、有料の入場チケットが必要です。JUNOPARK ホームページのチケット購入ページ (<https://junopark.ticket.smarthello.jp/1c9657370cf145a4a90c75e8107e12a3?openExternalBrowser=1>) より購入後、発行される二次元コードで体験エリアに入場できます。現地窓口での販売はありませんが、当日にご自身のスマートフォンやタブレットなどから購入可能です。

入場料：子ども（中学生以下）500円・大人1,000円

※小学校3年生以下のお子さまは保護者の付き添いが必要です

※未就学児は無料（体験アクティビティにはご参加いただけません）

※入場チケットの購入画面だけではご入場いただけません

※体験エリアへの入場は、当日に限り再入場が可能です

※パブリックエリア（カフェ・レストラン・ライブラリー・ショップ）は、入場チケットの購入は不要です

<体験アクティビティ予約について>

有料の体験エリアに入場後、好きな体験アクティビティの整理券（アクティビティパス）を取得することで、参加が可能です。

詳細はこちら：<https://www.sekisuihouse.co.jp/junopark/>

<キャラクター詳細情報>

JUNOPARK に住む「住」にまつわる6つの感性を表現するキャラクターが学びをサポートします。



● JUNOPARK（ジュノパーク）概要

- ・施設名 : JUNOPARK（ジュノパーク）
- ・館長 : 枚田 栄次（ヒラタ エイジ）
- ・開業日 : 2025年8月5日（火）
- ・所在地 : 〒619-0224 京都府木津川市兜台 6-6-4
- ・延べ床面積 : 約7,500平方メートル
- ・階数 : 地上4階建て
- ・施設内容 : 体験アクティビティ、体験ギャラリー、ライブラリー、カフェ、レストラン、ショップなど
- ・営業時間 : 9:30-17:00（カフェ 9:00-17:45 / レストラン 11:30-14:30）
- ・休館日 : 毎週水曜日（祝日・長期連休期間を除く）・年末年始・他臨時休館あり
- ・対象年齢 : 小学校高学年～中学生の方を中心に、どなたでも楽しめる内容となっております。
※体験エリアの入場には小学校3年生以下は保護者の付き添いが必要です。
- ・入場料 : 体験エリア 子ども（中学生以下）500円・大人1000円
※未就学児は無料（体験アクティビティにはご参加いただけません）
- ・駐車場 : 約120台（無料）
- ・その他設備 : 一部除く全館バリアフリー / 車いす・ベビーカー貸出あり / 授乳室あり
多目的トイレ（オストメイト用設備有）完備
盲導犬・介助犬・聴導犬を伴うご入館可能
- ・ホームページ : <https://www.sekisuihouse.co.jp/junopark/>
- ・公式 SNS : @junopark_sekisuihouse

